

議 事 録

会議名称	平成27年度第5回泉南市総合教育会議		
日 時	平成28年1月25日(月) 午後4時～午後4時55分	場 所	泉南市役所2階 第一委員会室
出席者	竹中勇人市長、福本光宏教育長、片木哲男教育委員、柳澤泰志教育委員、 藪内進教育委員、太田淳子教育委員		
事務局等出席者の職氏名	(事務局職員) 辻本誠副市長、真鍋康之総合政策部長、岡田直樹総合政策部次長兼政策推進課長、仲山友理政策推進課副主任、古木孝彦秘書広報課長 (教育委員会事務局職員) 上ノ山正人教育部長、菊池智之教育部参与、右馬隆治教育部次長兼指導課長、新納孝啓指導課主幹、伊藤公喜教育総務課長、水内正敏教育総務課課長代理、岡崎進一教育総務課総務係長		
議 題	(1) 声制度について (2) その他		

【事務局職員（総合政策部次長兼政策推進課長）】

開会にあたり、市長及び教育長から御挨拶をいただきたい。

ー開会ー

【市長】

本日は、この冬一番の寒い中、第5回総合教育会議にお集まりいただきありがとうございます。本日の総合教育会議では、前回から課題となっている『子どもの声』制度』について、運営方針を決めていただき、今後速やかに印刷等の作業を進めるため、議論をお願いしたい。

【教育長】

委員の皆様におかれましては教育委員会定例会に引き続きということで、お疲れの中ありがとうございます。『子どもの声』制度』については、平成28年4月スタートということで、忌憚のない御意見をいただき、御審議いただきたい。

【市長】

『子どもの声』制度』について、資料に基づき事務局の説明を求める。

【教育委員会事務局職員（教育総務課長）】

お手元のA4とA3それぞれ1枚ものの資料を御覧いただきたい。平成27年11月の総合教育会議で御議論いただいた『子どもの声』制度』の制度設計について、本総合教育会議に素案をお示しし、御審議いただいた上で周知啓発を行って参りたい。子どもに配布する本文となるA3の資料を御覧いただきたい。両面に印刷されているが、封筒がレイアウトされている側の左側に、「子どもの声～市長・教育長への手紙～」ということで、市長と教育長の連名で、子ども達にメッセージ性の強い言葉で表現している。内容は、(以下、資

料内容の読み上げ)「中学生のみなさんへ いじめ、体罰、虐待など誰にも相談できず、悩んでいること、辛いことはありませんか?あなたの気持ちは、私たちがききます。ためらわないで手紙をください。その手紙は、他の人に見せることなく、直接、私たちが読みます。あなたのことを守りたい。あなたは、ひとりではありません。あなたのこと、友だちのこと、見たこと、聞いたこと、どんなことでも、この手紙で私たちに話して下さい。私たちは、あなたの力になりたいと思っています。」ということである。本制度の趣旨が、学校に関することに限らず、子ども達が誰にも相談できずに悩んでいることを救いたいということで発案されたものなので、具体例を示しつつ、見たこと、聞いたことを含め制限をかけず書いていただき、書いたものについては、市長・教育長が直接見るということで、秘密性を担保した表現にしている。

続いて、右側の封筒についてですが、子ども達に切り取っていただき、封筒作成の上、切手を貼って送ってもらう。後程説明するが、既存の封筒の使用も可としている。

裏面を御覧ください。左側に、「子どもの声の制度とは?」とし、制度の運用方法、封筒等の作成方法等を細かく記載している。また再度、秘密性を担保することを表現するため、「相談内容の秘密は守ります。」と記載している。

右側には、市長・教育長から連絡する際に必要な名前、ふりがな、学校・学年、性別、住所、電話番号などを記載していただくこととしている。また、子ども達が連絡方法を選択できるようチェック項目を設けている。内容記載部分について、困っていること、悩んでいることをジャンル別にチェック項目を設けた上で、自由記載していただくこととしている。

この案が成案化されれば、カラー印刷を想定しており、事務局でレイアウト等を決定していきたい。また併せて、制度開始前に保護者に向けた案内文を作成しているのので、校正等の御意見をいただきたい。保護者に向けた案内文で修正願いたい箇所がある。2行目、「本校」とあるのを「本市」に、最終行、「主旨」とあるのを「趣旨」に修正願いたい。御審議いただき成案となれば、2月後半から3月上旬に学校に対し、事前周知し、本文については、印刷後、4月の入学式以降順次子ども達に配布したい。

【市長】

ただいまの説明に御意見はないか。

【柳澤教育委員】

「子どもの声～市長・教育長への手紙～」の4行目が「ききます。」、11行目が「聞いたこと」となっているので、両方「聴きます」としてはどうか。また、この制度を活用しなければならないような悩みを持っている子どもは、「見られるんじゃないか」「知られるんじゃないか」ということに恐怖心を持つかもしれないので、秘密を守ることをより強調するために、7行目の後に、「他の人には決して見せません。必ず約束は守ります。」など、この文章の中でより安心感を与えるような表現にしてはどうか。

【市長】

「聞きます」は「聴きます」が良い。念押しのため、秘密を守ることをより強調し、安心感を与える表現の方が良いと思う。他に御意見はないか。

【事務局職員（副市長）】

6行目から7行目の「直接、私たちが読みます。」の後に念押しのため、「決して他の人には見せません。」などの文言を入れる。

【市長】

他に御意見はないか。

【事務局職員（副市長）】

学校への周知徹底はどのように行うのか。

【教育委員会事務局職員（教育総務課長）】

学校への周知については、1月の校園長会で制度開始について、市長、教育長から各学校長に事前周知している。今回の総合教育会議の議論を踏まえ、より具体的に周知を行い、本日お示しした保護者への案内文と併せて各学校に周知する。併せて、広報、ホームページ等の媒体を活用し周知啓発を行いたい。

【市長】

保護者へは、いつ頃周知するのか。

【教育委員会事務局職員（教育総務課長）】

本文をお配りする前に、入学説明会で事前説明をお願いしようと考えている。『『子どもの声』制度について』と題した保護者への事前周知は2月から3月頃行う予定であり、4月まで若干タイムラグがあるので、再度入学式の際に説明していただく。

【市長】

他に御意見はございませんか。

【太田教育委員】

この手紙を書くのは、中学校の子ども達になるので、混乱の無いよう周知していただきたい。本文を印刷する際の色だが、狭い校区内で出すことを考えれば、あまり目立つ色ではない方がいいと思うので、そのあたり御検討いただきたい。

【教育委員会事務局職員（教育総務課長）】

紙の色については、中身が透けない程度の白色等を検討している。印刷については多色刷りを検討しているので少し目立つ感じを検討している。

【事務局職員（副市長）】

カラー印刷を検討しているのは、大事なものなので、すぐに捨てないよう保存していただくための配慮だと聞いている。ただし、あまり派手なものとならないよう配慮する必要はある。

周知等について学校ごとに差があるといけないと思うが、学校に任せるという考えか。

【教育委員会事務局職員（教育総務課長）】

入学説明会の際に、中学校給食に関する説明をしていただくことになっているので、教育総務課から何名か学校に行こうと思っている。その辺りは、教育委員会事務局で調整する。

【事務局職員（副市長）】

制度の周知が最も重要だと考える。

【市長】

私の思いとしては、学校ごとに温度差があり、周知が出来ていなかったり、あえて周知しないことなどが無いよう徹底してもらいたい。

【教育委員会事務局職員（教育総務課長）】

4月以降の運用について、前回の総合教育会議で市長から、まず中学生を対象に行うということだったが、小学生も悩みごとをかかえている可能性があるので、事業検証後に教育委員会事務局として、小学生を対象を拡大していくことも検討している。その際は、皆様にもお諮りしたい。

【蕨内委員】

中学生が対象となっているが、切羽詰まった子しか出さないとするので後納郵便料として市が負担してもいいのではないか。実際、切手を貼ってまで送るのか。

【市長】

前回の総合教育会議でも議論したが、この件については、いたずら防止の意味でも切手を貼っていただければと思う。

一度出してもらった後、用紙を渡す時に切手を貼って渡すというのも一案かと思う。

【片木教育委員】

この制度は中学生の最後のセーフティネットであり、活用される件数も多くはないということかと思うが、いじめや虐待など子どもが抱える問題の根本となるのは、生活の安定かと思う。最近子どもの貧困がいろいろなところでよく取り上げられているが、この制度の周知と同時に、子どもを守る制度として、この制度以外にも行政として用意していることを、冊子等を作成するなどの方法で、保護者へ周知をしていただければ考える。

【市長】

数年に1回「くらしの便利帳」を各家庭に配布しているので、それを活用していただければ考える。

それでは、声制度については、本文の「聞」を「聴」に修正するとともに、「他の人に見せることなく、直接、私たちが読みます。」を「直接、私たちが読み、他の人には一切見せることはありません。」に修正する。この内容で子どもの声の制度については、保護者、学校で取り扱うということによろしいか。

－異議なしの声あり。－

【市長】

本日の総合教育会議は、閉会とさせていただきます。御指摘いただいた点については反映し、子どもの声を聴ける体制をしっかりと作っていきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。本日はありがとうございました。

－閉会－

平成28年1月25日

泉南市長 竹中 勇人

泉南市教育長 福本 光宏